平成29年度上半期業績のご報告

日本海しんきん
半期開示レポート

日本海信用金庫の平成29年度上半期（平成29年4月1日～9月30日）における
経営情報についてご報告いたします。

経営方針

1.「日本海信用金庫ブランド」の確立
- ●顧客満足度（CS）の向上
- ●社会的責任（CSR）への対応
- ●法令等遵守（コンプライアンス）の徹底

2.「絆の経営」の実践
- ●地域再生、活性化への積極的な支援
- ●地域課題解決への協力
- ●地域産業再生への支援
- ●魅力ある商品、サービスの開発

3. リスク管理体制の強化とガバナンスの向上
- ●統合的リスク管理への適切な対応
- ●内部統制機能及びガバナンスの向上

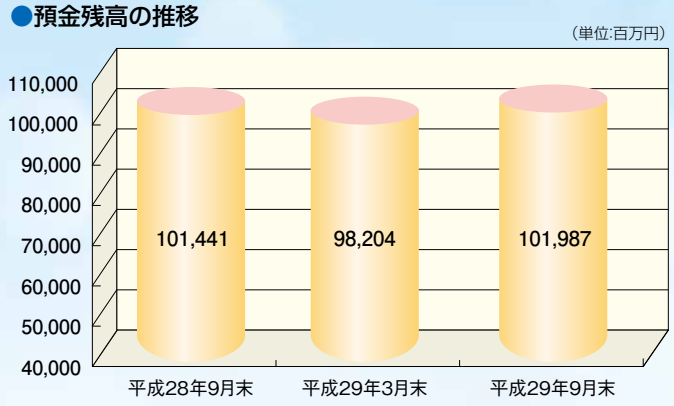
4. 人材の育成
- ●人間性あふれる優れた人材の育成
- ●「人間力」豊かな課題解決型金融を担う人材の育成

なつかしの国 石見（いわみ）

Ⅰ 預金残高推移・内訳

地域のお客様のご支援により、預金積金は前年同月比545百万円増加の101,987百万円と堅調に推移しました。
また、預金積金残高のうち個人預金が74.00%、一般法人預金が19.98%を占めております。

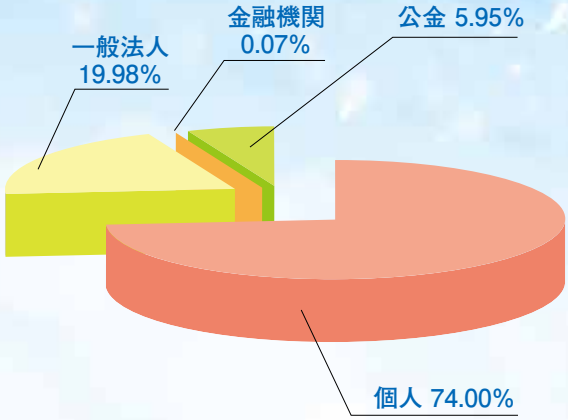
●預金残高の推移



(単位:百万円)

		平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
個人合計		75,627	75,892	75,470
法人合計		25,813	22,312	26,516
	うち一般法人	20,333	19,970	20,373
	うち金融機関	69	67	71
	うち公金	5,410	2,273	6,071
預金積金合計		101,441	98,204	101,987

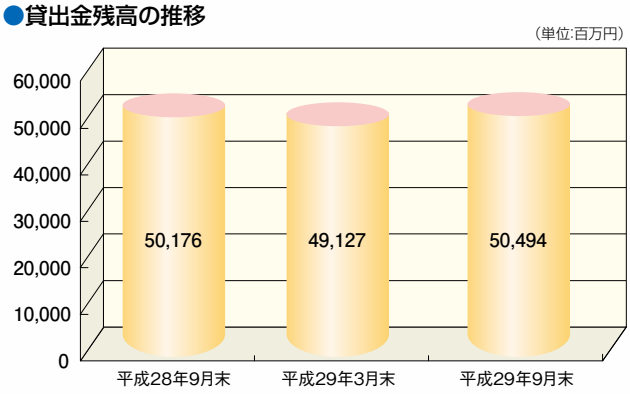
●預金者別残高の割合(平成29年9月末)



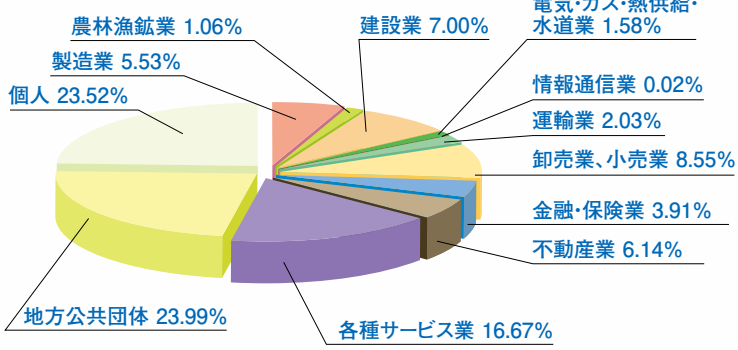
Ⅱ 貸出金残高推移・内訳

貸出金は前年同月比317百万円増加の50,494百万円となりました。
日本海しんきんは、地域金融機関としてお客様からお預かりした資金を地元の皆様に幅広くご利用いただいています。また、特定の業種やお客様に偏ることのないように留意するとともに、小口多数取引の推進に努め、貸出金資産の健全性を維持、向上していきたいと考えています。

●貸出金残高の推移



●貸出金業種別構成比(平成29年9月末)



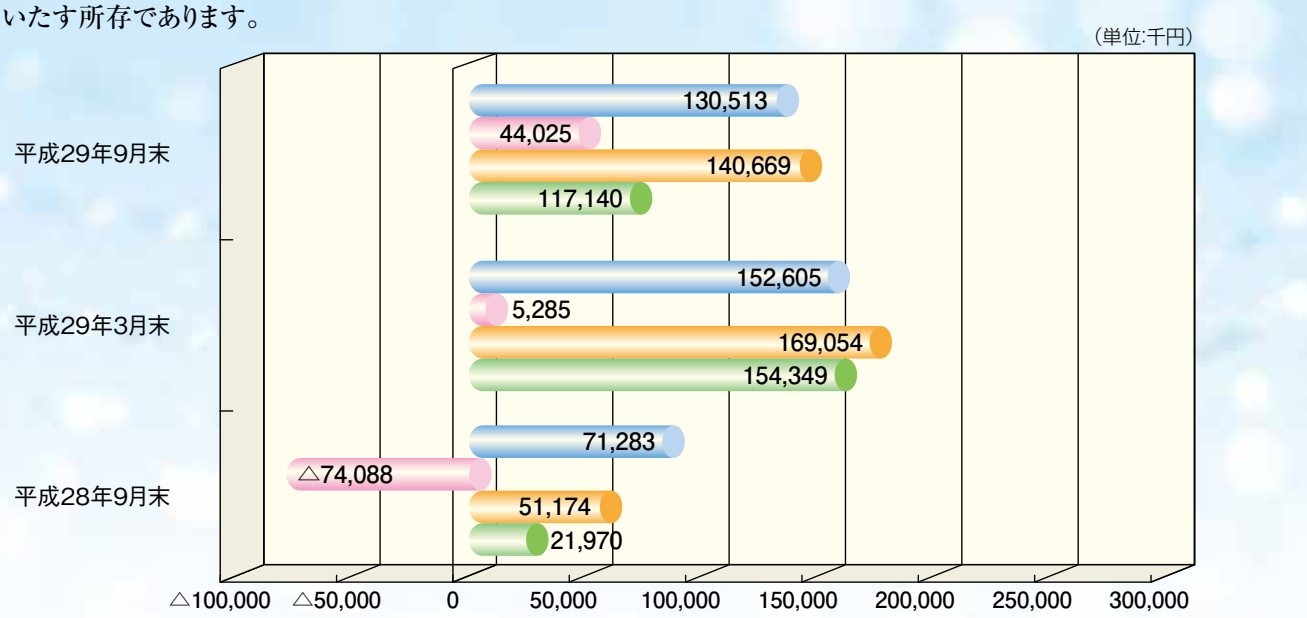
(単位:百万円)

日本標準産業分類	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末	貸出金業種別構成比の分類
製造業	2,846	2,805	2,793	製造業
農業、林業	193	165	143	農林漁鉱業
漁業	289	249	287	
鉱業、採石業、砂利採取業	110	103	104	
建設業	3,700	3,500	3,534	建設業
電気・ガス・熱供給・水道業	749	721	800	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	17	14	12	情報通信業
運輸業、郵便業	959	1,053	1,023	運輸業
卸売業、小売業	4,366	4,375	4,319	卸売業、小売業
金融業、保険業	2,046	1,812	1,972	金融・保険業
不動産業	2,692	2,715	3,100	不動産業
物品賃貸業	269	273	252	各種サービス
学術研究、専門・技術サービス業	259	255	219	
宿泊業	1,464	1,427	1,302	
飲食業	859	948	873	
生活関連サービス業、娯楽業	991	1,068	1,069	
教育、学習支援業	1,483	1,395	1,396	
医療、福祉	1,775	1,764	1,680	
その他のサービス	1,741	1,548	1,618	
小計	26,815	26,199	26,503	小計
地方公共団体	11,091	10,690	12,114	地方公共団体
個人(住宅・消費・納税資金等)	12,270	12,236	11,876	個人
合計	50,176	49,127	50,494	合計

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

Ⅲ 損益の状況

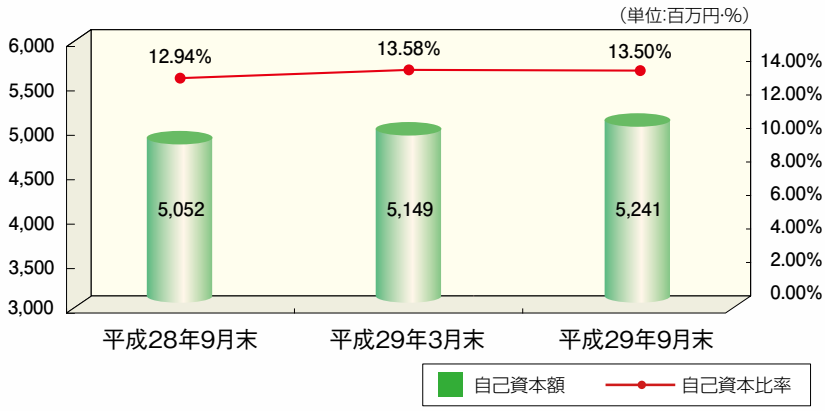
平成29年上期の業績は、業務純益130,513千円、経常利益140,669千円、当期純利益117,140千円となりました。地方経済は依然として厳しい状況が続きますが、“地域の責任金融機関”として、皆さまの期待にお応えすべく、役職員一同鋭意努力いたす所存であります。



※ 「業務純益」および「コア業務純益」は決算速報ベースで記載しております。
※ 信用金庫においては中間決算を義務づけられておりません。
※ 平成28年9月末および平成29年9月末は期初から6ヶ月間の実績値です。

Ⅳ 自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関が保有する資産に対する自己資本の割合をいいます。金融機関の健全性・安全性といった基礎体力を見るうえで、重要な指標となっています。
日本海しんきんの自己資本比率は13.50%と平成29年3月期と比較しますと0.08ポイント低下しましたが、国内基準である4%を大幅に上回っております。



(単位:百万円・%)

項目		平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
自己資本額	コア資本に係る基礎項目	5,056	5,168	5,275
	コア資本に係る調整項目(▲)	3	19	34
	計(A)	5,052	5,149	5,241
リスク・アセット	オン・バランス項目	35,784	34,619	35,549
	オフ・バランス取引等項目	167	345	340
	CVAリスク相当額を8%で除して得た額	20	35	22
	中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0	0	0
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,050	2,897	2,897
	リスクアセット等計(B)	39,023	37,898	38,810
自己資本比率	(A)/(B)×100	12.94%	13.58%	13.50%

注1:自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

V 金利リスクに関する事項

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの（例:貸出金・有価証券・預け金・預金積金等）について、金利変動により発生するリスク量をみるものです。当金庫の平成29年9月末の金利リスク量は、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理（99%タイル値）によって求められた金利変動幅を使用した場合、954百万円となりました。
なお、要求払預金（普通預金、当座預金等）の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がありません。お客様の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、要求払預金の50%相当額を期間帯「1年超3年以内（平均2.5年）」に全額置き、リスク量を算定しています。

（単位:百万円）

	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
金利ショックに対する損益・経済価値の増減額	707	688	954

VI 有価証券の時価情報

●売買目的有価証券

平成29年3月末、平成29年9月末とも該当ございません。

●満期保有目的の債券

（単位:百万円）

	種類	平成29年3月末			平成29年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	57	58	0	55	55	0
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	57	58	0	55	55	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	3	3	△ 0	3	3	△ 0
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	2,901	2,708	△ 193	3,001	2,827	△ 174
	小計	2,905	2,711	△ 193	3,005	2,830	△ 174
合計		2,963	2,770	△ 193	3,060	2,886	△ 174

（注）1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●子会社・子法人等株式および関連法人等株式

平成29年3月末、平成29年9月末とも該当ございません。

●その他有価証券

（単位:百万円）

	種類		平成29年3月末			平成29年9月末		
			貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式		23	22	1	17	17	0
	債券		10,560	9,823	737	8,135	7,471	664
		国債	2,654	2,423	230	2,662	2,423	239
		地方債	2,019	1,880	139	1,372	1,259	112
		社債	5,887	5,519	367	4,100	3,788	312
	その他		5,620	5,361	259	7,056	6,723	333
	小計		16,205	15,206	998	15,210	14,212	998
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式		23	25	△ 1	3	4	△ 0
	債券		1,300	1,407	△ 107	1,613	1,710	△ 97
		国債	993	1,096	△ 103	1,003	1,096	△ 93
		地方債	—	—	—	199	200	△ 0
		社債	306	311	△ 4	411	413	△ 2
	その他		8,900	9,284	△ 384	7,981	8,276	△ 295
	小計		10,224	10,717	△ 493	9,598	9,991	△ 393
合計			26,429	25,924	504	24,808	24,203	605

（注）1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

（単位:百万円）

	平成29年3月末	平成29年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非上場株式	78	78
非上場投資信託	435	435
信金中金出資金	453	453
組合出資金	29	39
合計	995	1,005

●金銭の信託

平成29年3月末、平成29年9月末とも該当ございません。

●第102条第1項第5号に掲げる取引

平成29年3月末、平成29年9月末とも該当ございません。

Ⅶ 不良債権への取り組み状況について

日本海しんきんは、毎期「金融検査マニュアル」等に基づき、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っております。不良債権に対する保全には貸倒引当金を計上する等、万全を期しております。平成29年9月期の不良債権とされる合計額は3,976百万円となりましたが、約91%は担保、保証、貸倒引当金等でカバーされており、健全性・安全性に問題はありません。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

		開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(C)	貸倒引当金(d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
①破産更生債権及びこれらに準ずる債権	H29年3月	1,242	1,242	582	660	100.00%	100.00%
	H29年9月	1,053	1,053	413	639	100.00%	100.00%
②危険債権	H29年3月	2,585	2,421	1,987	434	93.63%	72.50%
	H29年9月	2,545	2,378	1,940	438	93.46%	72.48%
③要管理債権	H29年3月	407	216	138	77	53.11%	28.91%
	H29年9月	377	209	137	72	55.49%	29.99%
④小計(①+②+③)	H29年3月	4,236	3,880	2,708	1,172	91.60%	76.71%
	H29年9月	3,976	3,641	2,491	1,149	91.58%	77.45%
⑤正常債権	H29年3月	45,298					
	H29年9月	46,931					
⑥合計(④+⑤)	H29年3月	49,535					
	H29年9月	50,907					

注)1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

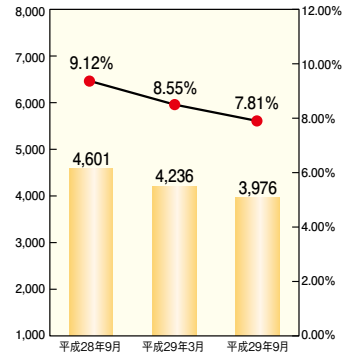
2 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

4 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

5 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

●金融再生法開示債権及び開示債権比率



棒グラフ……金融再生法開示債権額(単位:百万円)
折れ線グラフ…開示債権比率(単位:%)

Ⅷ トピックス

浜っ子まつり参加(浜田)

国府海岸クリーン作戦参加(浜田)

江の川祭り参加(江津)

100キロウォーク参加(益田)

Ⅸ 商品のご案内

事業所の名称および所在地

店 舗 一 覧（平成29年10月末現在）

●本　　店	〒697-0027	浜田市殿町83番地1	TEL 0855-22-1850
●西　支　店	〒697-0045	浜田市京町58番地	TEL 0855-22-0358
●東　支　店	〒697-0033	浜田市朝日町1550番地	TEL 0855-22-0357
長浜支店	〒697-0063	浜田市長浜町1528番地2	TEL 0855-27-0305
●駅前支店	〒697-0022	浜田市浅井町1583番地	TEL 0855-22-3700
●三隅支店	〒699-3211	浜田市三隅町三隅1373番地	TEL 0855-32-2500
●旭町支店	〒697-0425	浜田市旭町今市365番地3	TEL 0855-45-1313
●益田支店	〒698-0026	益田市あけぼの本町10番地3	TEL 0856-23-3456
●長沢支店	〒697-0023	浜田市長沢町3036番地	TEL 0855-22-4180
都野津支店	〒695-0021	江津市都野津町2280番地	TEL 0855-53-0306
●浅利支店	〒695-0002	江津市浅利町78番地1	TEL 0855-55-1090
●国府支店	〒697-0006	浜田市下府町1671番地3	TEL 0855-28-0205
江津支店	〒695-0016	江津市嘉久志町2305番地9	TEL 0855-52-2620

●は土、日、祝日ATM稼動店

店外ATMコーナー（平成29年10月末現在）

- ●ゆめタウン浜田店出張所
- ●新町出張所
- ●笠柄出張所
- ●シティパルク浜田出張所
- ●プリル出張所
- ●周布出張所
- ●イオン益田店出張所
- ●ジュンテンドー江津出張所
- ●ゆめタウン江津出張所

●は土、日、祝日ATM稼動店

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫
〒697-0027 島根県浜田市殿町83番地1
TEL（0855）22-1851　FAX（0855）22-7858

LINE@

日本海信用金庫では、スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」において「LINE@」のアカウントを開設しました。
日本海しんきんからのお得なキャンペーン情報や商品情報などを手軽に受け取れますので、お友だち登録してご利用ください。

LINE@アカウント情報
アカウント表示名：日本海信用金庫

友だち登録方法
方法1 公式アカウント一覧の検索バーから「日本海信用金庫」で検索して登録する。
方法2 「友だち追加」から右のQRコードを読み取って登録する。

※スマートフォン向けコミュニケーションアプリ「LINE」は、LINE株式会社が提供するアプリです。
※LINEのご利用設定はお客様の判断でお願いします。

ホームページも開設しておりますので、ぜひご覧下さい。

URL https://nihonkaishinkin.co.jp/

※本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てております。また、本資料に掲載する計数は、監査法人の監査を受けておりません。